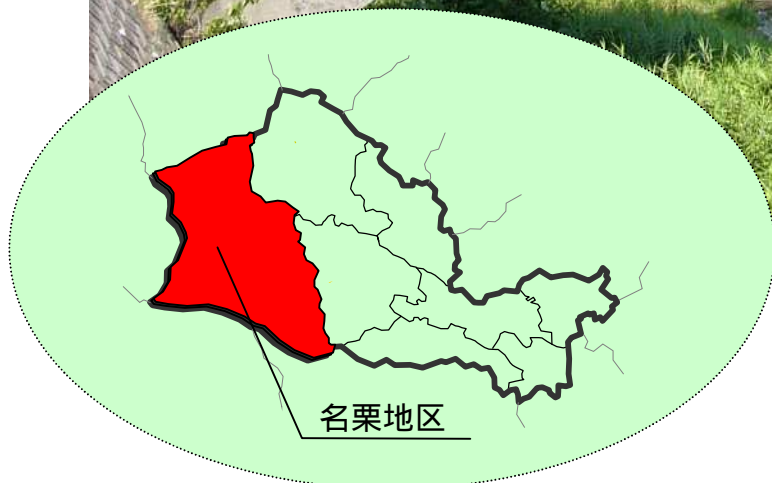


名栗地区



名栗川橋



飯能市の西部に位置する名栗地区は、全域が県立奥武蔵自然公園に指定され、自然と清流を誇る「自然の美術館」といえる。

また、日本三林業のひとつ西川材の主産地でもあり、清らかな清流と手入れの行き届いたスギ・ヒノキの美林を誇りとしている。

地区内には、自然が多く残されていることから、「癒し」や「安らぎ」を求める観光客が多く訪れ、行楽シーズンには賑わいを見せている。

活動実績

「ホタルの里づくり事業」

- ・ホタル鑑賞会並びにホタルが見える場所にのぼり旗を設置した。
- ・ホタルの餌となるカワニナを入間川・有間川に放流した。

「景観整備事業」

- ・ハイカー用の杖をつくり登山口に設置して、ハイカーが自由に利用できるようにした。
- ・西川材でベンチとプレートを作成して、地区内の主要なバス停に設置した。
- ・地区内道路沿いの桜の木の整備を継続して行い、日本さくらの会から表彰を受けた。
- ・有間ダムの壁画修復に協力するなど観光資源の整備を行った。

「イベント事業」

- ・地区内で開催されたイベント等に協力して、交流人口の増加を図った。

現状と課題

名栗地区は、区域の 94% を山林が占め、荒川の源流域である入間川の清らかな水が流れる豊かな自然環境であることから、やすらぎを求める都市住民の「癒しの空間」や地域住民との「ふれあいの空間」等として活用できる可能性を秘めた地域である。

一方、山間地域に属する名栗地区は、少子高齢化による人口減少、特に若い世代の流出が進む地域であり、地域活力の維持の面で将来に大きな不安を抱えている。また、近年の国産材需要の低迷などにより、長期にわたって林業経営の不振や林業の後継者不足など深刻な問題を抱え、森林の育林不足による荒廃が危惧されている。

このことから、この広大な森林をいかに効果的かつ効率的に管理を行っていくか、また、若年層にとっていかに魅力ある自然環境づくりを進めることができるかということが求められている。

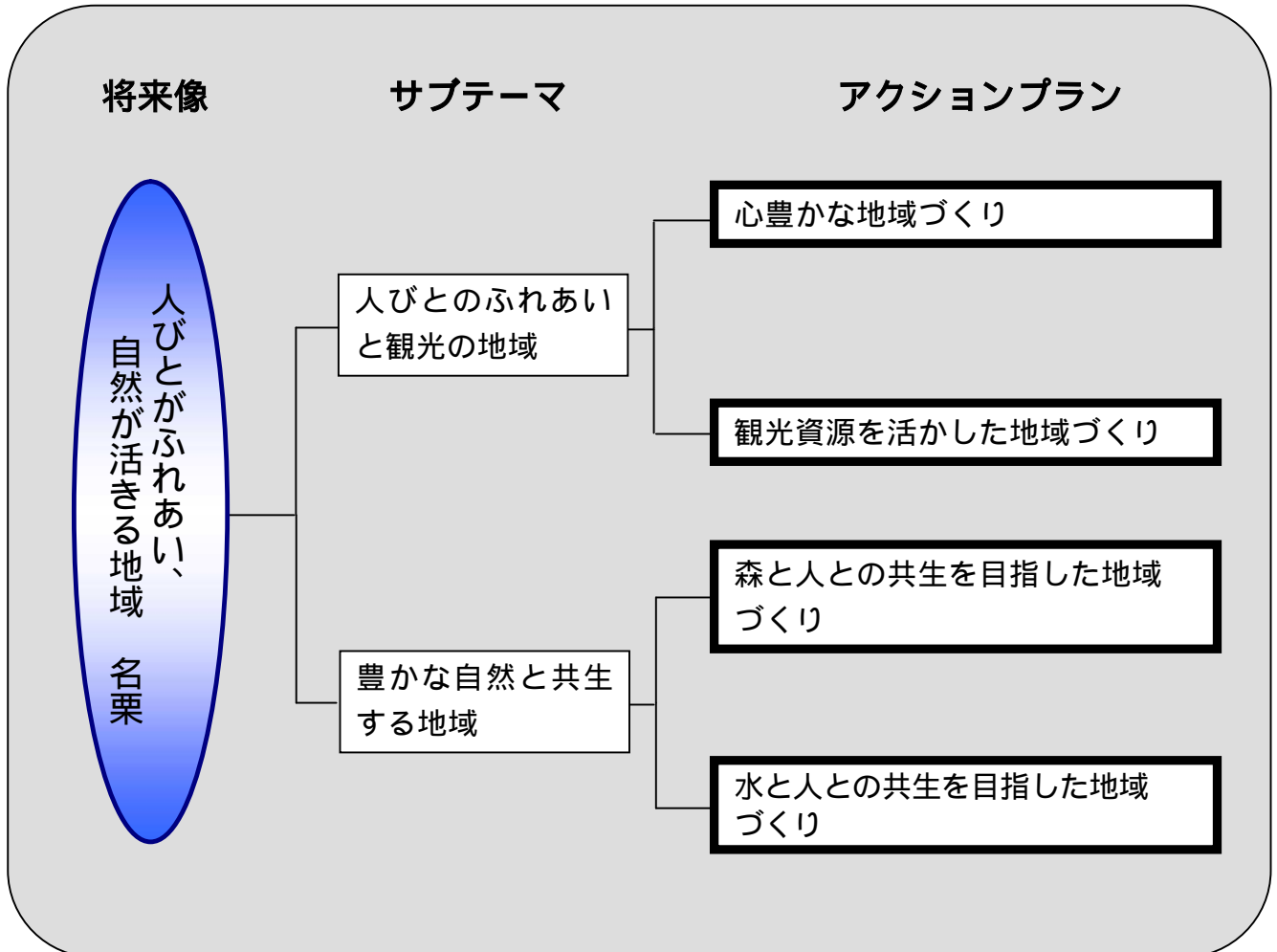
将来像

人びとがふれあい、自然が生きる地域 名栗

サブテーマ

人びとのふれあいと観光の地域
豊かな自然と共生する地域

名栗地区協働計画「アクションプラン」



名栗湖

アクションプラン 「心豊かな地域づくり」

〔目的〕

少子高齢化による人口減少が進む中、自主性・主体性を尊重したコミュニティづくりを推進し、地域の人々の連帯感と交流が重要となっている。

地域への愛着を深めながら地域社会の形成に参加する気運を育み、活気と親しみのある地域づくりのために、誰もが身近にできる活動を進める。

〔取り組み方〕

- ・ 清掃活動を通じた環境整備
- ・ 花木による景観づくり
- ・ 地区内沿道の整備
- ・ 地区内河川の整備



地区内沿道の立木の剪定作業

アクションプラン 「観光資源を活かした地域づくり」

〔目的〕

名栗地区は、入間川の源流と清流、奥武蔵の山々や温泉など、自然が豊かで歴史的資源も多く点在しており、首都圏から近い観光レクリエーションの場として多くの観光客が訪れている。

潜在的な観光資源を活用するとともに、魅力アップを図り、住民も来訪者もともに楽しめる環境づくりを進めていく。

〔取り組み方〕

- ・ ふるさと名栗の観光・名所めぐり
- ・ ハイキングコースの整備
- ・ ハイキングコースに杖を設置
- ・ 散策コースにベンチと道標を設置
- ・ 地域のイベントへの協力



名栗の名所のひとつ・鳥居観

アクションプラン 「森と人との共生を目指した地域づくり」

〔目的〕

西川林業の中心地として栄えた名栗地区は、森林の多目的利用を推進するために、計画的な伐採による生態系の保全や天然林の保護など適正な保全管理を行い、山林の保水力向上、災害防止、自然景観の保持を進めるとともに、森林と人との共生を図っている。

林業の活性化を推進するために、西川材の活用や森林体験などを実施し、この豊かな森林を後世に引き継いでいく。

〔取り組み方〕

- ・ 西川材を活用した地域づくり
- ・ 針葉樹や広葉樹の特性を生かした環境整備
- ・ 森林体験イベント
- ・ 西川材を活用して通学路に花壇づくり



上名栗の林

アクションプラン 「水と人との共生を目指した地域づくり」

〔目的〕

入間川の最上流部に位置する名栗地区は、緑豊かな森林が生み出す清らかな水が、多様な生物を育む自然環境を形成し、私たちに憩いと安らぎを提供してくれる。

この貴重な資源である清流を守るために、水辺の生態系や環境の保全・再生に努めるとともに、清流の大切さを認識してもらおう。

〔取り組み方〕

- ・ 水生生物の観察や保護
- ・ 清流の環境づくり
- ・ ホタルの里づくりのためのカワニナの飼育



名栗川



県立名栗げんきプラザ

ご家族から団体の方まで
楽しい発見がいっぱい！
名栗の森を探しに来てく
ださい。

アクションプラン
森と人との共生を目指
した地域づくり

アクションプラン
心豊かな地域づくり



星宮神社

飯能市指定無形文化財の
獅子舞は、毎年9月下旬
に開催されます。演目「屏
風返し」では女獅子と男
獅子2匹が共演します。



桧淵諏訪神社

露払いの猿田彦命の先導
により名栗川の淵に面し
た古い参道から社殿前庭
に入り獅子舞を行います。



松木の観音堂

千手観音像を本尊とし、
武州一揆に参加した者た
ちの落書きが残っている
といわれている。

名栗地区アクションプランマップ

アクションプラン
水と人との共生を目指した地域づくり



下名栗諏訪神社

埼玉県指定無形文化財「下名栗の獅子舞」は、毎年8月下旬に開催されます。特に最後の演目である白刃は、真剣を使い勇壮な獅子舞である。



名栗カヌー工房

自分で作ったカヌーを名栗湖に浮かべて楽しむ…夢がふくらみますね！



旧名栗郵便局

昭和4年建造。外壁は中の砂が浮き出す「洗い出し」と呼ばれる仕上げがなされ壁面の装飾はコテで描かれています。



名栗川橋

埼玉県指定有形文化財。大正13年建造。県内に現存するものとしては最も古く全国でも初期の橋である。



名栗湖（有間ダム）

周辺にはハイキングコース、カヌー、温泉、釣場などが整備されています。



有間溪谷観光釣場

自然の渓流を利用し、大小さまざまな淵を区切った自然豊かな釣場です。施設内には、足湯も完備されています。

アクションプラン
観光資源を活かした地域づくり